

令和2年度 熊本県立荒尾支援学校進路便り第7号（通巻NO. 53）

わーく&らifu

令和2年12月1日 進路指導部 発行

■ CONTENTS ■

重複障がい学級の進路決定に向けた取組

重複障がい学級では、中学部の施設見学、高等部の施設体験を通して、卒業後の進路につなげています。（右表参照）この進路学習では、①施設での生活や仕事をを通して、人とのかかわりの大切さや社会生活を学ぶ。②生活経験を拡大し、卒業後の社会生活への適応性を高める。③施設と保護者、学校との情報交換や連携を図る。この3点を目的として実施しています。施設見学、施設体験共に保護者の皆様にもご参加いただきながら、施設のサービス内容を知っていただくと共に、実際の施設での生徒の様子を通して、一人一人に合った進路を選択できる機会としています。卒業までに様々な施設での体験を通して、より一人一人に応じた進路決定となるように一緒に考えていきます。

今回のわーく&らifuは、9月から11月にかけて高等部重複障がい学級で実施した施設体験の様子を一部紹介します。

■施設体験①「生活介護ひまわり」(荒尾市)

2名が別日程で体験を行いました。主な活動内容は、体操（ラジオ体操・ストレッチ）、レクリエーション（ペタンク、サイコロゲーム）でした。レクリエーションでは、施設の利用者さんやスタッフさんとかかわりながら楽しむことができました



荒尾支援学校重複障がい学級のインターンシップ「施設見学・施設体験」について

施設見学		施設体験	
【第1回】6月上旬に半日	【第1回】6月上旬に一日間	【第1回】6月上旬に一日間	【第1回】6月上旬に一日間
【第2回】11月下旬に半日	【第2回】11月下旬に半日	【第2回】9月下旬に一日間程度	【第2回】9月下旬に一日間程度
・はじめての環境(人・場所)での活動をする。 ・卒業後の生活を知る。	・いろいろな施設があることを知る。 ・自分らしい卒業後の生活について考える。	・施設での生活に慣れる。 ・施設との関係を築く。 ・進路先を選ぶ。	

■施設体験②「風工房R」(玉名市)

クッキーの袋のシール作成（スタンプ押し、シール貼り）、クッキー作り（生地作り、型抜き）、掃除、接客（iPadを利用した呼び込み）など様々な活動を体験させていただきました。1つ1つの作業に真剣に取り組み、特にクッキーの型抜きは30個以上集中して作業を続けることができました。卒業後の生活に必要な力を確認することができました。



■施設体験③「きらきら」(玉名市)

午前は紙すきの活動を行い、牛乳パックのフィルムはがしの作業を施設の職員の方や教師と一緒に取り組みました。学校とは違う雰囲気の中で、周囲の様子を感じ取りながら活動していました。午後はレクリエーションでボール渡しゲームを行い、利用者の方々と交流しました。たくさん話しかけていただき楽しい時間になりました。



■施設体験④「天水生命学園」(玉名市)

ラジオ体操、ウォーキング、本の読み聞かせ、音楽鑑賞に取り組みました。ウォーキングでは晴天の下、利用者の方と関わりながら施設の周りを散歩しました。読み聞かせでは、施設のスタッフの方が読まれる本に視線を向けて楽しむことができました。利用者の方にたくさん話しかけていただき、笑顔で過ごすことができました。



編集後記

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、高等部の施設体験は後期に1回の実施となりました。希望されていた施設の体験受け入れ停止や時期の変更もありましたが、各施設のご厚意で全ての生徒の体験受け入れをしていただき、充実した活動を行うことができました。中学部の施設見学については後期に1回、半数の生徒のみの実施となりましたが、得られた情報を学部全員で共有しました。体験前には、施設側と念入りな打合せを行い、それぞれの生徒の様子に応じた活動や支援の在り方、場の設定等を考えていただきました。実際の施設での体験を通し、卒業後の生活に見通しをもつことができたのではないのでしょうか。今後とも、生徒のニーズに応じた進路先選択に向けて、施設、保護者、学校が互いに情報交換をしながら、取り組んでいきたいと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。（池野）

